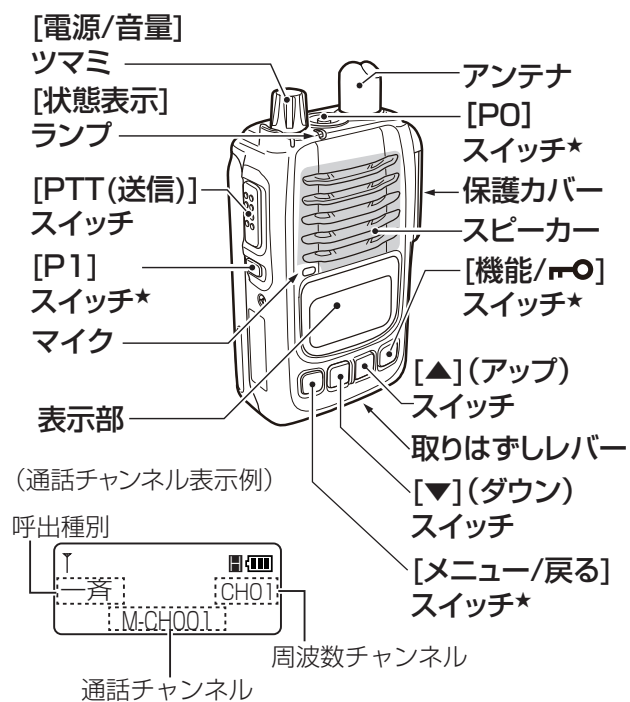


各部の名称と機能



★印のスイッチに割り当てられている機能については、お買い上げの販売店にご確認ください。

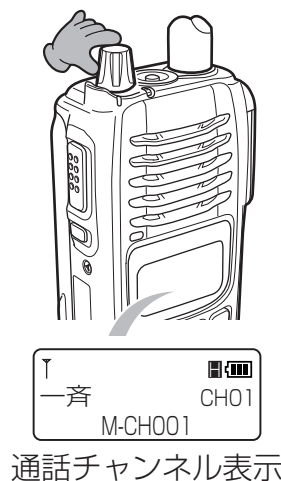
電源を入れて、パスワード?と表示されたときは

起動パスワード機能が設定されていると、電源を入れたときに「パスワード?」を表示します。この場合、本製品を操作するには、あらかじめ設定されたパスワードの入力が必要です。あらかじめ設定された順番どおりに、無線機本体のスイッチを押すと、パスワードが解除されます。パスワードを間違えると、「ブツ」とビープ音が鳴ります。パスワード入力ミスにより、再入力できる回数はあらかじめ決定されています。再入力可能回数を超えると、「端末ロック」が表示され、電源を切る以外の操作はできなくなります。※「端末ロック」の表示を解除するには、お買い上げの販売店にご依頼ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、本製品の基本操作を説明しています。
本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を安全にご使用ください。

電源の入れかた

[電源/音量] ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
・「カチッ」と音がします。
※電源を切るときは、[電源/音量] ツマミを反時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。



【起動コメントについて】
起動コメントが設定されているときは、電源投入直後に「IC-DV60S1」などの起動コメントが表示されます。

ご参考
起動コメントの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【自局番号表示について】
自局番号表示機能が設定されているときは、「IC-DV60S1」などの起動コメントが表示されたあと、自局の個別番号が表示されます。

IC-DV60S1
起動コメント例

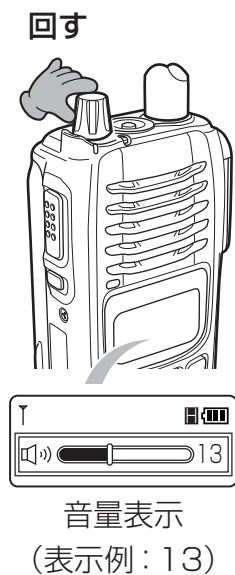
00001
自局の個別番号
(例：00001)

音量調整のしかた

[電源/音量] ツマミを回します。
(調整範囲：0～32)

【音量を確認するには】
アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択し、モニター機能が設定されたスイッチを押します。

- ・[状態表示] ランプが緑色に点灯し、「ザーッ」という音が出ますので、この音を聞いて調整できます。
※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ※デジタル通信で使用する通話チャンネルを選択し、モニター機能を設定したスイッチを押しても、音量は確認できません。
受信中に、相手の音声聞きやすい音量に調整してください。



ご参考
音量の最小値を制限できます。(例：10)
最小値を制限する場合は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

誤操作を防ぐには(キーロック機能)

「ピピッ」と鳴るまで、[機能/Ⓜ-ⓐ] スイッチを長く押します。

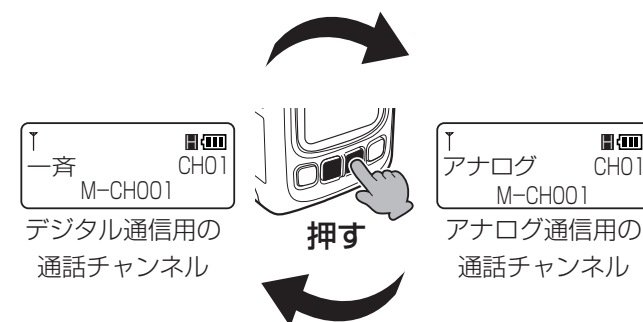
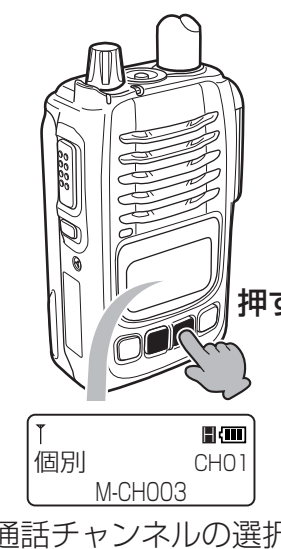


【キーロックを解除するには】
もう一度、[機能/Ⓜ-ⓐ] スイッチを長く押します。

- 【キーロック中にできる操作】
- ◎ キーロック機能の解除
 - ◎ 送信/受信
 - ◎ モニター機能の「ON」/「OFF」
 - ◎ 緊急呼び出し
 - ◎ 電源の「入」/「切」と音量調整★
- ★キーロック中の音量操作を有効にするには、設定が必要です。
詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

通話チャンネルを切り替えるには

[▼] (ダウン) / [▲] (アップ) スイッチを押して、相手と同じ通話チャンネル (例：M-CH003) に合わせます。
※デジタル通信で使用する通話チャンネル、アナログ通信で使用する通話チャンネルの順番で、通話チャンネルが切り替わります。

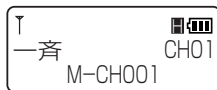


デジタル通信で呼び出しをする(送信する)

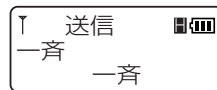
デジタル通信の呼び出しには、次の4種類の方法があります。

※ 通話チャンネルごとに、呼び出しの種類、ユーザーコード、周波数チャンネルがあらかじめ設定されています。

◎**一斉**：周波数チャンネルとユーザーコードが同じ、すべてのグループを一斉に呼び出す



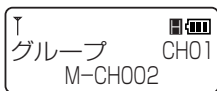
通話チャンネル表示例



送信中の表示例

◎**グループ**

：周波数チャンネルとユーザーコードとグループ番号が同じ相手局を、指定して呼び出す

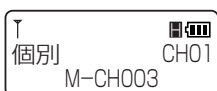


通話チャンネル表示例



送信中の表示例

◎**個別**：周波数チャンネルとユーザーコードが同じ相手局の、自局番号を指定して呼び出す



通話チャンネル表示例



送信中の表示例

◎**ユーザーコード**

：周波数チャンネルとユーザーコードが同じ相手局を呼び出す



通話チャンネル表示例



送信中の表示例

[PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。



【相手局から応答がないときは】

通話チャンネル表示に切り替わってから、再度**[PTT]**(送信)スイッチを押すと、繰り返し呼び出しできます。



呼び出し後、応答を待っている状態

【相手局が通信圏内かどうかを確認するには】

個別呼び出しの相手局番号を選択した状態で、**[PTT]**(送信)スイッチを短く押します。

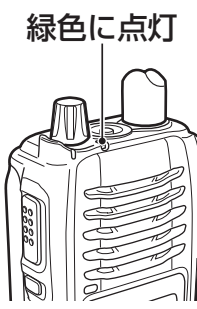
・相手局が通信圏内にいる場合は、**[状態表示]**ランプが赤色に1回点滅したあと、「ピッ」と鳴り、**[状態表示]**ランプが緑色に1回点滅します。通信圏外など、相手に電波が届かない場合は、終話して、操作前の表示に戻ります。

※通信圏内確認には、通信する双方の無線機に設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

デジタル通信で呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、**[状態表示]**ランプが緑色に点灯します。

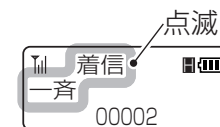


【応答するときは】

[状態表示]ランプが消灯し、待ち受け状態になってから、**[PTT]**(送信)スイッチを押します。

◎一斉呼び出しを受けると、右図の表示になります。

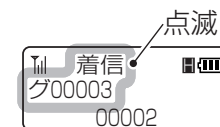
・「一斉」と呼び出してきた相手の個別番号(例: 00002)を表示します。



着信中の表示例

◎グループ呼び出しを受けると、右図の表示になります。

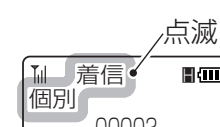
・呼び出しを受けたグループ番号(例: グ00003)と、呼び出してきた相手の個別番号(例: 00002)を表示します。



着信中の表示例

◎個別呼び出しを受けると、右図の表示になります。

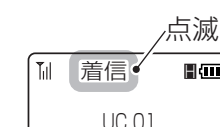
・「個別」と呼び出してきた相手の個別番号(例: 00002)を表示します。



着信中の表示例

◎ユーザーコードによる呼び出しを受けると、右図の表示になります。

・ユーザーコード(例: 01)を表示します。



着信中の表示例

アナログ通信で呼び出しをする(送信する)

[PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。



※送信中、表示される画面は変わりません。



通話チャンネル表示例

アナログ通信で呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、**[状態表示]**ランプが緑色に点灯します。
※呼び出しを受けても、表示される画面は変わりません。



【応答するときは】

[状態表示]ランプが消灯し、待ち受け状態になってから、**[PTT]**(送信)スイッチを押します。